



翼



「あたたかい春風を感じて」

校長 井上 雅子

暖かい地方では梅の開花が聞こえています。梅も桜も長い寒い冬が終わるときに一齐に咲くので、私たち日本人にとっては古代より本当に待ちこがれる花なのです。梅も桜も、寒い間、土の中の根に養分や水分をため、幹や枝に送り込み、花や葉をつけるのを待ち、いっせいに花を咲かせます。私たち人間も同じかもしれません。長く苦しい時を、なんとか乗り越えれば必ず春が来る、花が咲く時が来るのです。この春卒業する中学3年生は、今まさに花を咲かせようと頑張っています。これまでの学習や経験、豊かな人との関わりで蓄えた栄養を使い、それぞれの個性ある花を咲かせてほしいと願っています。

曹洞宗を開いた道元の教えの中に「花、紅にして美なりといえども一人開くにあらず、春風来たりて始めて開くなり」という意味深い言葉があります。人間が人生の花を咲かせるのは、自らの努力と共にそれを支え、春の風のようにあたたかく励ましてくれる多くの人の存在を忘れてはいけないという教えです。

中学生は、授業、部活動、係活動、運動会や合唱祭などの行事で、多くのことに頑張り学び成長しています。しかし学校生活の様々な場面に打ち込むことができるのは、常に皆さんのそばにいる保護者の方たち、多くの友達、そして先生たちがいるからなのです。その人たちが皆さんに寄り添い励まし、時には叱り、成長させてくださっているおかげで皆さんの個性の花が咲くのです。そのことを常に忘れずに感謝の気持ちをもって前に進みましょう。

昨年12月、1、2年生が毎年行っている「受験生応援プロジェクト」で、3年生に素敵なカードを一人一人に作ってくれました。また1年生は、3年生に合格だるまを作り、あたたかい応援の気持ちを3年生に贈ることができました。私立、都立高校の推薦入試が終わり合格者も出てきていますが、多くの3年生は一般の入試を控えています。苦しい時がもう少し続きます。ひばりが丘中学校の生徒どうし、応援し合い支え合って過ごし、乗り切りましょう。



相田みつおさんの詩です。「美しい花を見た 美しい花は美しい枝についている 美しい枝は美しい幹についている 美しい幹は美しい根っこが支えているに違いない」

強い根っこ作り、土台作りのために、しっかり毎日の学習を積み重ね、豊かな人間関係を大事にして、それぞれの美しい個性の花を咲かせましょう。

6月に学校が再開してからここまで何とか頑張ってきました。令和2年度、最後まで支え合い、あたたかい春風のような応援を身近に感じながら過ごしたいと思います。



■学校評価アンケートのまとめ

第二回の学校評価アンケートを1月に実施いたしました。アンケート項目のうち生徒、保護者、教員の結果を比較できるものについてまとめました。（数字は「そう思う」「どちらかという」と「そう思う」を合わせたものです）

○生徒は学校に行くのが楽しい

【生徒】88.6% 【保護者】93.5%

○学校はわかりやすい授業をすすめるための様々な工夫をしている

【生徒】90.9% 【保護者】85.0% 【教職員】83.7%

○時間、挨拶、言葉遣いなど集団のルールやマナーを守り規則正しい学校生活を送っている

【生徒】97.0% 【保護者】94.8% 【教職員】94.4%

○学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる

【生徒】98.7% 【保護者】95.4% 【教職員】88.9%

*教職員については、「生徒がいじめられたり無視されたりすることなく安心して活動できるように教員間で生徒情報の共有を積極的に行っている」という質問です。

○学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている

【生徒】93.9% 【保護者】90.5%

○お互いが協力して、生徒会活動、委員会活動、学級の班や係活動に前向きに取り組んでいる

【生徒】95.7% 【保護者】96.1% 【教職員】88.9%

*教職員については、「学校は生徒が学年・学級への所属感や自己有用感をもてるように学校行事や生徒会活動、部活動を充実させている」という質問です。

○学校は進路や職業の学習により自分の将来や「夢の実現」に向けた取り組みや指導をしている

【生徒】86.6% 【保護者】82.4% 【教職員】94.4%

○学校は、学校、学年だより、学校HPなどを充実させ学校の取組や生徒の様子を発信している

【生徒】97.0% 【保護者】91.5%

どの項目も、第一回と第二回の数字に大きな変化はなく、おおむね肯定的な意見をいただいているといえます。しかし「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を分けて「そう思う」だけを見てみると、「学校へ行くのが楽しい」では、生徒は「そう思うが」43.9%、保護者は52.6%で、生徒の「学校が楽しい」というポイントをもう少し高めていかなければならないと感じます。また「学校はわかりやすい授業を進めるために工夫をしている」では、生徒は「そう思う」が44.7%、保護者は22.6%、「学校は日頃から生徒からの相談に積極的に応じている」では、生徒は「そう思う」が51.5%、保護者は25.2%であり、授業改善と生徒に寄り添う教職員の姿勢については、まだまだ課題があると考えなければなりません。

しかし「学校でいじめられたり、無視されたりすることなく安心して活動できる」という項目では、保護者は42.5%で少なくはありますが、生徒の「そう思う」は80.3%と、本校がいじめがなく安心して安全な場所であると8割以上の生徒が感じていることについては評価できると考えています。もちろん「そう思わない」生徒については、現在も、日常の観察と聴き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への教育的な支援を全校をあげて行っております。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、学校行事が中止され、学校公開など学校の教育活動を知っていただく機会が少なく、評価することが難しかったのではないかと思います。そんな中でアンケートの回収率は86%以上でした。保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。また次年度は答えに「わからない」という項目を入れ、アンケートの答え難さを解消し改善していこうと考えます。詳しいデータはホームページ等に公開いたしますので是非ご覧下さい。